



第5学年の「食について考え、体験し、分かったことをまとめよう」と「食の大切さについて発信しよう」の2つの単元で行った実践を紹介します。

「食についての問題」について、**社会や家庭科で学んだこと**を取り入れながら**黒板を使って児童同士でウェビング**を行い学びを広げました。

知りたいこと疑問に思うことの情報収集のために、**教科で学んだこと**を活かして、納得いくまで**地域の人に質問をしながら学び**を広げました。

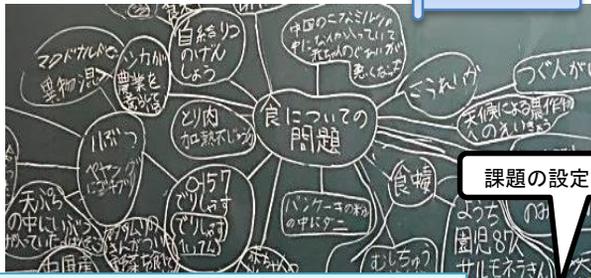
家庭科で調理実習をする際に気を付けたことがありましたね。最近ニュースで報道されている食中毒の問題と関係がありますね。

見通し1



社会で農家や農業が抱える課題についてどんなことを勉強しましたか？

見通し2



課題の設定

情報を共有することで、自分たちで解決すべき課題に気づき、主体的な活動につながりました。

理科で植物の栽培の学習をしたけれど、野菜のつくり方について専門家の話が聞ければなあ・・・

見通し1



インタビューの仕方は、国語で勉強したことを使えるといいですね。

見通し2

苗を植えつけるときに気を付けた方がいいことはありますか？

苗を植えつけるときは、根が傷まないようにすることが大事だよ。



情報の収集

児童の野菜づくりへのさらなる意欲につながりました。

協働的な学びの場の設定

国語のまとめる力や算数の分析する力などを活かしてまとめをし、**地域の方や栄養教諭**といった相手意識・目的意識をもち発表をし、**学びを深めました。**

個人で調べた情報をもとに、食に関する「**問題点**」と「**原因**」とのつながりを**国語の提案文**での学習を活かして、**グループで視点を明確にして話し合い学びを深めました。**

お世話になった地域の人たちに向けて、わかりやすく伝えるようにするにはどうしたらいいかな？

見通し1



まとめ・表現

フードロスの多さが伝わるように、学校のプール何杯分かで表わせられないかな？**算数**の体積の学習が活かせるのかな？

見通し2



教科等で学んだことを活かしながらまとめ、地域の方や栄養教諭が発表を聞いてくれることで、「地域の人が聞きに来てくれて、さらにやる気になった」など主体的・探究的に学ぶ姿が見られました。

整理・分析

見通し1



国語で提案文を書いた時には、身近にある問題の解決策をどのように考えましたか？

この整理・分析の仕方は、国語の勉強で前やった方法と同じだから分かりやすいな。

見通し2

この問題点の原因は、これでいいのかな？みんなの意見を聞くと、もっと調べてみる必要がありそうだね。

整理・分析の方法が想起でき、児童の主体的な課題解決につながりました。

成果

- 地域の特色を活かした単元構想をしたことで、児童の思いに応え地域の支援をいただき、児童の主体的な活動につながった。
- 教師側が視覚的カリキュラム表を作成・閲覧をし、他教科の学習を活かせる児童への投げかけをすることで、児童の主体的な活動につながった。
- 児童同士や地域の方と協働する場面を意識的に取り入れたことで、児童が課題を共有したり、考えを広げたり深めたりすることにつながり、そこから更に調べたい、知りたい、相談したいといった主体的で探究的に学ぶ姿が見られた。

